

平成28年10月20日

～美ら島の未来を拓く～

沖縄総合事務局

サイバーセキュリティ人材育成の取組

経済産業部は、サイバーセキュリティ対策に関する政府動向と連動して、管内の産学官連携による情報共有・啓発活動、技術の高度化、人材育成、ビジネス創出を検討する「沖縄サイバーセキュリティネットワーク」の事務局^{*1}として参画しております。

同ネットワークの活動の一環として、サイバーセキュリティ人材育成に取り組んでおり、今後、以下の2つのイベントが開催されます。

1. サイバーセキュリティ技術競技会「Hardening Project(ハードニングプロジェクト)2016」
2. 一般向けセミナーと学生中心の専門講座「セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄2016」

1. Hardening Project(ハードニングプロジェクト)2016 ※詳細は、<http://wasforum.jp/hardening-project/>

「Hardening Project」は、仮想のECサイトに対してサイバー攻撃を行い、同サイトを運営する企業として任意に編成されたチームが、同サイトの堅牢化に如何に対応するかを競い合うもので、同サイトの売上げのみならず、セキュリティ対策の実践的な技術力、顧客への対応力等を8時間耐久で総合的に判定される競技会です。

同競技会は、非営利の任意団体である「WASForum(ワスフォーラム)」が2012年から東京で開催していたもので、経済産業部は2014年から沖縄開催を誘致し、共催者として年2回、「より実践的に」を合言葉に毎回ステップアップさせながら参画しています。

今年度は第1回目を「Hardening 100 Value × Value」をテーマとして6月4～5日に実施しており、第2回目が以下のとおり開催されます。

【テーマ】Hardening 100 Weakest Link(ウイakest・リンク)

【日 時】平成28年11月1日(月)9:30～11月2日(火)16:30

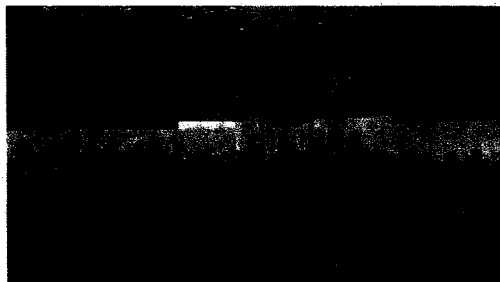
1日目: Hardening Day(競技)10:00～18:00

2日目: Softening Day(競技成果の振り返り等)9:30～16:30

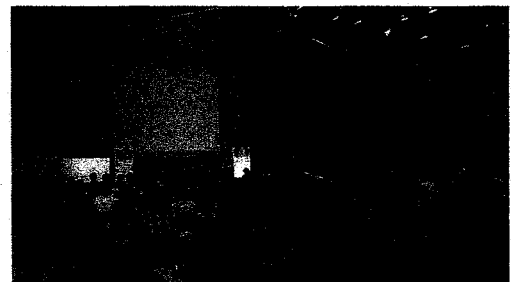
【場 所】沖縄コンベンションセンターA棟



関係者ロゴ



競技風景



Softening Day



2. セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016 ※詳細は、<http://security-camp.org/minicamp/okinawa2016.html>

「セキュリティ・ミニキャンプ」は、2004年度から毎年開催されている「セキュリティ・キャンプ」の地方開催版となっています。経済産業部は、セキュリティ・キャンプ実施協議会と独立行政法人情報処理推進機構（IPA）の協力を得て、2013年度から「セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄」（一般向けセミナーとして「一般講座」、25歳以下の学生向け合宿として「専門講座」を実施。）を毎年度1回、これまでに3回開催してきました。

今年度から、沖縄地域における学生受講者の募集、セミナー集客、会場確保、IT機材調達、カリキュラム構成等の事務について、今年6月に発足した「セキュリティ・ミニキャンプ沖縄実施協議会」において、自主的・自立的に実施していくこととしており、10月に、県内学生の専門講座への応募促進を目的としたキックオフセミナーを開催いたしました。今後の同協議会の活動予定は以下のとおりとなっています。

なお、実施に当たっては「沖縄サイバーセキュリティネットワーク」の活動と連携して取り組めます。

（1）プレ講座

専門講座のカリキュラムに沿った基礎知識、講座内容等について各講師等が事前に解説することによってスムーズな受講体制を構築（10～11月実施予定）

（2）セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016

①開催日程

【一般講座】 2016 年 12 月 16 日（金）13:00～17:00

【専門講座】 2016 年 12 月 17 日（土）～18 日（日）（1泊2日）

②会場

【一般講座】 那覇第2地方合同庁舎1号館2階大会議室

【専門講座】 独立行政法人国際協力機構沖縄国際センター

③参加人数

【一般講座】 100 名（専門講座受講者・キャンプ関係者含む）

【専門講座】 20 名

セキュリティ・ミニキャンプ沖縄実施協議会 2016年度活動予定

0. キックオフセミナー

※12月17～18日開催の「セキュリティ・ミニキャンプin沖縄2016（専門講座）」の応募者促進を図る講演・実施概要説明、交流会

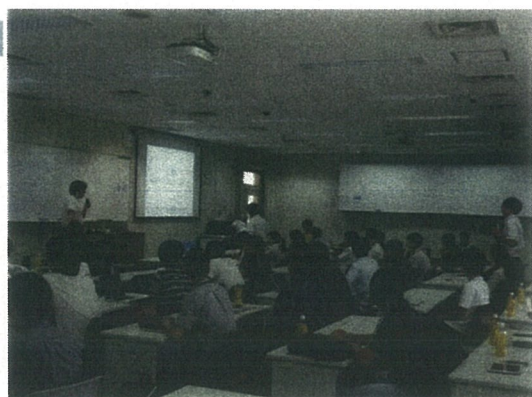
1. プレ講座

※専門講座のカリキュラムに沿った基礎知識、講座内容等について各講師等が事前に解説することによってスムーズな受講体制を構築（10～11月実施予定）

2. セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄2016

3. フォローアップ講座（交流会）

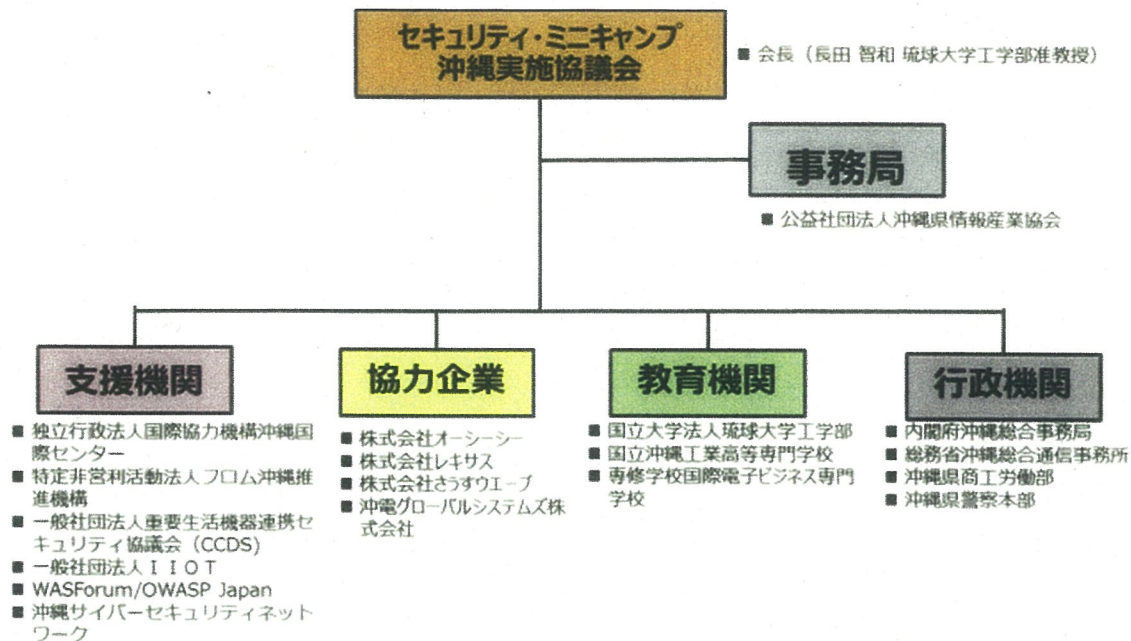
※「セキュリティ・ミニキャンプin沖縄2016」開催後の振り返り及び関係者ネットワークの構築



10月1日開催キックオフセミナー風景



内閣府



セキュリティ・ミニキャンプ沖縄実施協議会 体制図

3. まとめ

沖縄は我が国の中で最も東南アジア諸国に近く、首都圏との中間に位置していることから、アジアとの人的交流の中継拠点となり得る可能性が高いため、経済産業部は、今後ともこれらのサイバーセキュリティを含めた高度 IT 人材やグローバル人材等の輩出拠点を目指した取組を実施していきます。

（注釈）

*1：「沖縄サイバーセキュリティネットワーク」の事務局は、総務省沖縄総合通信事務所、沖縄県警察本部、内閣府沖縄総合事務局の3機関となっています。

<URL> <http://ogb.go.jp/keisan/2406/13243/index.html>

問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局

経済産業部地域経済課

担当者：大城弘文、砂川和司

TEL：098-866-1730

FAX：098-860-1375

セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016

開催概要

一般講座

専門講座

講師プロフィール



開催概要

セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016 一般講座・パンフレット

セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016 専門講座・パンフレット

	一般講座	専門講座
名 称	セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016	
日 程	2016年12月16日（金）	2016年12月17日（土）～18日（日）
場 所	那覇第二地方合同庁舎 1号館 2階会議室 〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち 2-1-1	独立行政法人 国際協力機構（JICA）沖縄国際センター 〒901-2552 沖縄県浦添市字前田1143-1
アクセス	内閣府沖縄総合事務局庁舎案内 https://www.ogb.go.jp/soumu/soumu_tyousya.html JICA沖縄国際センター交通案内 http://www.jica.go.jp/okinawa/office/access.html	
定 員	100名	20名 選考あり
参加資格	どなたでも参加できます （社会人、学生、教職員、保護者等）	日本国内に居住する、2017年3月31日時点において25歳以下の大学院生・学生・生徒
主 催	セキュリティ・ミニキャンプ沖縄実施協議会、 セキュリティ・キャンプ実施協議会、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）	
共 催	公益社団法人沖縄県情報産業協会	
後 援	沖縄サイバーセキュリティネットワーク（内閣府沖縄総合事務局、沖縄総合通信事務所、沖縄県警察本部）	
費 用	無料。ただし会場までの交通費は自己負担でお願いいたします。	

一般講座

一般講座スケジュール 12月16日 金曜日	
12:30	受付開始
13:00 (10分)	オープニング 『セキュリティ・ミニキャンプ沖縄の紹介』セキュリティ・ミニキャンプ沖縄実施協議会
13:10 (60分)	『サイバーセキュリティ経営ガイドラインの解説』講師／調整中 経済産業省・独立行政法人情報処理振興機構が策定した「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」について概要やポイントについて説明し、企業の経営者がサイバー攻撃から組織を守るために備えておくべきことを解説します。
14:10 (60分)	『2016年版 セキュリティ10大脅威の紹介』独立行政法人情報処理振興機構 技術本部 セキュリティセンター 情報セキュリティ技術ラボラトリー研究員 土屋 正氏

	IPAでは社会的影響が大きかった前年の脅威に対して、情報セキュリティ分野の専門家、企業の実務担当者等、約100名による投票を行い、順位付けしたものを「情報セキュリティ10大脅威」として公表しています。2016年版では、個人と組織という別々の立場における10大脅威の選出も行いました。今回はこれを基に個人と組織における脅威とその対策について解説します。
15:10 (10分)	休憩
15:20 (50分)	『ファジング動向とUSBを介した脅威の紹介』一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会（CCDS）研究開発センター IoT脆弱性ユニット1 研究員 城間 政司氏 CCDS沖縄 R&Dセンター IoT脆弱性ユニットでは、IoTセキュリティに関連した、脅威モデル連携型ファジング手法や公共USB充電サービスの偽装攻撃脅威などをテーマとして研究活動を行っています。 今回は、ファジングによるセキュリティ脆弱性の検出手法の動向、USBデバイスやインタフェースに関する脅威の事例や対策を交えて、同研究ユニットの研究内容を紹介します。
16:10 (50分)	『サイバー犯罪の現状と対策』 沖縄県警察本部生活安全部 生活保安課サイバー犯罪対策室長 景山 高樹氏 沖縄県内で近年発生したサイバー犯罪の犯行手口や被害の実態、検挙事例について解説します。
17:00	クローゼイング
17:15	解散

一般講座募集要項	
参加条件	誰でもご参加いただけます。
申込方法	メール本文に以下タイトルと必要項目を記載し申込窓口までメールを送信ください。 タイトル：セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016一般講座参加申込 必要事項： ・氏名（ふりがな） ・会社名または学校名 ・部署名または学科・学年 ・E-mailアドレス（確実に連絡がつくアドレス） ※申込された方には、窓口より「【受付完了】セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016」というタイトルの確認メールが届きます。
申込窓口	セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016 一般講座申込窓口 Email：okinawa-ippan@security-camp.org
申込締切	12月14日(水)17:00必着 ※先着順のため満席になり次第受付終了します。
お問合せ窓口	セキュリティ・ミニキャンプ沖縄実施協議会事務局（公益社団法人沖縄県情報産業協会内） 〒903-0100 沖縄県西原町千原1番地 TEL：098-943-4641 FAX：098-943-4642 E-mail:iia@iia-okinawa.or.jp

専門講座

専門講座スケジュール（1日目） 12月17日 土曜日	
12:30	受付開始
13:00 (60分)	『セキュリティ基礎』セキュリティ・キャンプ講師WG主査 上野 宣氏 情報漏えいなどセキュリティ関連の事件は毎日のように起きています。なぜ、その事件は起きたのでしょうか。最近起きた事件の事例やその特徴などを知り、その原因や対策を考えてみましょう。
14:00 (240分)	『車載LAN上を流れるメッセージの取得と解析』セキュリティ・キャンプ講師 井上 博之氏 現在の自動車には数十のECU（制御コンピュータ）が搭載されており、CANやLINなどのネットワークで結ばれています。今回は、CANの実験用ネットワークを教室に用意し、そこにELM327を使ったOBD-IIアダプタを接続し、各人のPCからCANネットワークにアクセスし、流れているメッセージを取得し解析する方法をハンズオン形式で行う予定です。
18:00 (90分)	夕食（JICA研修生との交流）
19:30 (150分)	『ログ解析実践』セキュリティ・キャンプ講師 川口 洋氏 あるサーバが攻撃を受け、サービス提供に支障が生じました。そのサーバのログを解析し、影響範囲やサービス停止の原因を調査します。
22:00	専門講座1日目終了

専門講座スケジュール (2日目) 12月18日 日曜日	
8:30 (60分)	『沖縄県におけるセキュリティ施策について』 沖縄県商工労働部情報産業振興課、沖縄県警察本部生活保安部生活保安課技術職員 赤嶺 智氏 沖縄県や県警にて現在すすめている施策を説明し、どのような人材を発掘・育成しているのか紹介します。
9:30 (150分)	『マルウェア動的分析』 沖縄工業高等専門学校 メディア情報工学科 教授 伊波 靖氏 仮想化技術を用いたサンドボックスにて実際にマルウェアを動作させ、その挙動を確かめることによって解析の方法を学びます。また、動的分析環境を検知し解析を回避するマルウェアに対応するために、サンドボックスの改造法について実装を通して学びます。
12:00 (60分)	昼食休憩 (主催者側にて用意いたしますので、皆さんと一緒に食事しましょう)
13:00 (180分)	『セキュリティ対策演習』 株式会社レキサス Appli & Webチーム ミドルウェアエンジニア 又吉 伸穂氏 MINI Hardening を模した環境を利用したセキュリティ対策の実践
16:00 (60分)	『クロージング』 修了書授与・クロージング・各種案内
17:00	終了 (解散)

専門講座募集要項	
参加条件	- 日本国内に居住する、2017年3月31日時点において25歳以下の大学院生・学生・生徒 (当日、学生証または年齢がわかるものをご提示いただきます)。 12月17日 (土) に宿泊 (宿泊場所: JICA沖縄国際センター) が可能な方。宿泊費は主催者が負担します。 - 団体行動のルールを守り、他の参加者と協調して参加できること。 - コンピュータサイエンスに関する基礎知識を持っていること。 - 別途定める「セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016」実施規定を遵守できること。 - 参加時点で20歳未満の方は、参加について保護者の同意を得られること (参加決定時に保護者の同意書を提出していただきます)。
申込方法	専門講座申込用紙に必要事項を記入の上、窓口までE-mailにてお申込ください。 セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016・専門講座申込用紙(MS-Word) セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016・専門講座申込用紙(テキスト) ※申込用紙の記入事項に不備があった場合には、受領されない場合がありますので注意してください。 ※メールで申込の際には、必ずタイトルを以下のとおりとし、申込用紙送信先のアドレス宛に送信してください。 タイトル:「セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016 専門講座参加申込」 ※申込された方には、窓口より「【申込受け付けました】セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016 専門講座」というタイトルの確認メールを送信します。
申込窓口	セキュリティ・キャンプ実施協議会 ミニキャンプ in 沖縄2016 専門講座申込窓口 Email : okinawa-senmon@security-camp.org
申込締切	11月14日 (月) 17:00必着 (17:00までに到着したものを有効とします)
参加者決定のお知らせ	厳正な審査の上、11月18日 (金) までにメールまたは電話にて連絡します。
留意事項	- 申込者多数の場合には、参加できないことがあります。専門講座の参加者は、申込書の質問事項回答内容を審査の上、沖縄地方の方を優先に選考します。 - 会場までの往復の交通機関や宿泊施設は必要に応じてご自身で手配 (費用自己負担) してください。 - 専門講座の参加が決定された方には、「セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016」実施規定を遵守する旨の誓約書を提出していただきます。また、事前学習課題に取り組んでいただきます。 - ミニキャンプ期間中には、マスコミ各社による取材活動が行われることがあります。また、取材された結果が氏名・学校・顔写真を含んだ受講時の様子を含めて各メディアに掲載されることがありますので、ミニキャンプに申込される方はその旨事前にご了解ください。 - ミニキャンプ開催後には、主催者ホームページにて「セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016」の開催報告をする予定ですが、その際参加者が写っている画像を掲載する可能性があります。キャンプに申込される方はその旨事前にご了解ください。 - ミニキャンプの講義の様子は、キャンプ事業の広報活動や技術啓発を目的として撮影、録音し、その内容を公開する場合があります。 - 本事業の成果をはかることを目的として、ミニキャンプ参加後、参加者については参加者アンケートの提出を含めて、定期的にその後の活動状況についてフォローアップ調査 (参加者は回答必須) をさせていただきます。参加を希望される方はその旨事前にご了解ください。 - セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016に参加した方でも、セキュリティ・キャンプ全国大会や他のミニキャンプの応募は可能です。
お問合せ窓口	セキュリティ・キャンプ実施協議会事務局 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1平河町森タワー 株式会社ラック内 Email info@security-camp.org TEL 03-6757-0196 FAX 03-6757-0112

講師プロフィール

上野 宣 うえの せん	セキュリティ・キャンプ実施協議会企画・実行委員（講師WG主査）。株式会社トライコーダ 代表取締役。サイバーセキュリティ教育・トレーニング、脆弱性診断などを提供。独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)セキュリティセンター研究員、情報セキュリティ専門誌 ScanNetSecurity 編集長、OWASP Japan Chapter Leader など務める。主な著書に『HTTPの教科書』、『めんどくさいWebセキュリティ』、『Webセキュリティ担当者のための脆弱性診断スタートガイド 上野宣が教える情報漏えいを防ぐ技術』など他多数。
井上 博之 いのうえ ひろゆき	広島市立大学大学院 情報科学研究科 情報工学専攻 准教授／一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会(CCDS) 研究開発センター IoT脆弱性研究ユニット1 チーフ。SECCON実行委員、セキュリティ・キャンプ全国大会講師、HiBiSインターネットセキュリティ部会顧問等。組込みシステムの情報セキュリティ、特に広域ネットワークにつながる家電や自動車のセキュリティについて、その脆弱性やセキュアな通信プロトコルに関する研究開発を行っている。
川口 洋 かわぐち ひろし	株式会社ラック サイバー・グリッド・ジャパン サイバークリッド研究所長 兼 チーフエバンジェリスト。2002年（株）ラック入社後、社内における研究開発、サイバーセキュリティに関する情報集約、情報発信を担当。情報セキュリティEXPO、Interop、各都道府県警のサイバーテロ対策協議会などで講演し、安全なITネットワークの実現を目指して日夜奮闘中。セキュリティ・キャンプの講師として未来ある若者の指導にあたる。また、最高の「守る」技術を持つトップエンジニアを発掘・顕彰する技術競技会「Hardening Project」のスタッフとして、ITシステム運用に関わる全ての人の能力向上のための活動も行っている。
伊波 靖 いは やすし	沖縄工業高等専門学校 メディア情報工学科 教授。情報セキュリティおよびコンピュータネットワークの教育・研究に従事。平成28年度沖縄県警察サイバー犯罪対策テクニカルアドバイザー。前職の沖縄県警察ハイテク犯罪解析官の経験と知見を活かしてWindows系のマルウェア検知やWAFへの機械学習の応用に関する研究を行っている。
又吉 伸穂 またよし のぶほ	株式会社レキサス Appli & Webチーム ミドルウェアエンジニア。Webアプリケーションの設計・開発をはじめとしてサーバーやミドルウェアの構築・運用に携わる。MINI Hardening Project運営やOWASP OkinawaのChapter Leaderとしてセキュリティイベントの開催やイベントでの登壇も行っている。

セキュリティ・キャンプ実施協議会事務局

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目16-1 平河町森タワー（株式会社ラック内）

TEL: 03-6757-0196 / FAX: 03-6757-0112

E-mail: info@security-camp.org

Copyright(C)Security Camp All rights reserved.

情報セキュリティセミナー

セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016 一般講座

<http://www.security-camp.org/minicamp/okinawa2016.html>

12月16日(金)

13:00～(開場12:30)

※対象：企業・団体の経営層

情報セキュリティ関連業務に従事する方
情報セキュリティについて学びたい方

- 会場：那覇第二地方合同庁舎 1号館 2階会議室（沖縄県那覇市おもろまち 2-1-1）
- 定員：100名（事前申込制）
- 申込：メール本文にタイトルと必要項目を記載し、申し込み窓口までメールを送信してください（参加料は無料です）
- 窓口：okinawa-ippan@security-camp.org ※締め切り：12月14日（水）

タイトル：セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016 一般講座参加申込

必要事項：氏名（ふりがな）、会社名（学校名）、部署名（学科・学年）、E-mail アドレス（確実に連絡がつくアドレス）

※申込された方には、窓口より「【受付完了】セキュリティ・ミニキャンプ in 沖縄 2016」というタイトルの確認メールが届きます

ご挨拶 13:00～13:10

オープニング「セキュリティ・ミニキャンプ沖縄の紹介」（セキュリティ・ミニキャンプ沖縄実施協議会）

講演1 13:10～14:10「サイバーセキュリティ経営ガイドラインの解説」

講師：調整中

概略：経済産業省・独立行政法人情報処理振興機構が策定した「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」について概要やポイントについて説明し、企業の経営者がサイバー攻撃から組織を守るために備えておくべきことを解説します。

講演2 14:10～15:10「2016年版 セキュリティ10大脅威の紹介」

講師：土屋 正 / 独立行政法人情報処理振興機構 技術本部セキュリティセンター
情報セキュリティ技術ラボラトリー研究員

概略：IPAでは社会的影響が大きかった前年の脅威に対して、情報セキュリティ分野の専門家、企業の実務担当者等、約100名による投票を行い、順位付けしたものを「情報セキュリティ10大脅威」として公表しています。2016年版では、個人と組織という別の立場における10大脅威の選出も行いました。今回はこれを基に個人と組織における脅威とその対策について解説します。

講演3 15:20～16:10「ファジング動向とUSBを介した脅威の紹介」

講師：城間 政司 / 一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会（CCDS）研究開発センター
IoT脆弱性ユニット1 研究員

概要：CCDS沖縄 R&Dセンター IoT脆弱性ユニットでは、IoTセキュリティに関連した、脅威モデル連携型ファジング手法や公共USB充電サービスの偽装攻撃脅威などをテーマとして研究活動を行っています。今回は、ファジングによるセキュリティ脆弱性の検出手法の動向、USBデバイスやインターフェースに関する脅威の事例や対策を交えて、同研究ユニットの研究内容を紹介します。

講演4 16:10～17:00「サイバー犯罪の現状と対策」

講師：景山 高樹 / 沖縄県警察本部 生活安全部 生活保安課 調査官 兼 サイバー犯罪対策室長

概要：沖縄県内で近年発生したサイバー犯罪の犯行手口や被害の実態、検挙事例について解説します。

主催：セキュリティ・ミニキャンプ沖縄実施協議会、セキュリティ・キャンプ実施協議会、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

共催：公益社団法人沖縄県情報産業協会

後援：沖縄サイバーセキュリティネットワーク（内閣府沖縄総合事務局、沖縄総合通信事務所、沖縄県警察本部）

窓口：セキュリティ・ミニキャンプ沖縄実施協議会事務局（公益社団法人沖縄県情報産業協会内）

沖縄県西原町千原1番地 TEL：098-943-4641 FAX：098-943-4642 E-mail: iia@iia-okinawa.or.jp

Web Application Security Forum – WASForum

since 2004

ホーム

Hardening Project 2016

SGR2016 – Security Groups Roundtable, 2016.9.23

Event/Conference

Communication

WASForumとは

ホーム > Hardening Project 2016

Hardening Project 2016

2012/09/04 18:02

Hardening Project – 「守る技術」の価値を最大化することを目指す、全く新しいセキュリティ・イベント

WASForumは、セキュリティ・イベント「Hardening Project」を実施してきました。このイベントは、最高の「守る」技術を持つトップエンジニアを発掘・顕彰するものであり、技術競技(コンペティション)の形式で実施しています。2012年4月に開催された「Hardening Zero」、ひき続いて同年10月には、よりチャレンジ力の求められる形として発展した「Hardening One」を実施してきました。2013年7月、さらなるアレンジを施した発展形として「Hardening One Remix」を開催。2014年はさらに進化をめざし、2014年6月、ついにHardening 10 APAC、Hardening 10 Evolutionsとして、競技とともに議論を深める技術交流の機会となりました。2015年には、Market Placeの概念が導入され、競技をよりブラクティカルにするための取り組みとしてプロフェッショナルサービスの購入というルールが導入されました。



Hardening Project

2016年度の活動では、オープンデータ、IoT、ビッグデータなどの新しいコンセプトを実践的競技の場に持ち込み、一層、堅牢化技術の価値を最大化することを目指してまいります。

- 11/1,2開催: [Hardening 100 Weakest Link募集要項](#)

「全く新しい」競技形式

Hardening Projectで開催する競技は、基本的にチーム対抗で、脆弱性のあるECサイトへのハードニング(堅牢化)力の強さを総合的に競うコンペティションの形をとります。競技内容は、セキュリティを扱う人が貢献する、現実的な問題をどのように扱って頂くかに焦点があてられます。参加チームは、StarBED内に構築された、仮想のネットワーク環境で競技します。

例えば、この環境には、通常の機能で一定ペースで売上があがるアクセスのある、eコマースサイト

が設置されている場合、着手から8時間というタイムプレッシャーのある中、このe コマースサイトの管理体制をしき、脆弱性を探し、必要な修正を施し、また、不意に発生する”インシデント”に対応しつつ、サイトを強化するというわけです。

このアプローチは、普段から知っている人と組む場合でもそうでない場合でも、「チーム」の判断力や独創性への試練となることでしょう。評価の基準としては、防御技術力のみならず、サイトの運営を維持する総合力、つまり攻撃に対する堅牢化、それと同時に売り上げの確保、ダウンタイムの最小化、そのためのコミュニケーションスキルのすべてを加味して勝者が決まるからです。これにより、ウェブサイトの安全性を追求する技術の啓蒙と人材の育成、またそうした技術の社会的認知の向上による健全なネット社会への進歩に貢献することを目指します。

Hardening イベントは、競技を中心としたHardening Dayと、その振り返りと表彰を中心としたSoftening Dayによって成り立っています。こうして、競争と協調の両方から、Hardening Projectのメッセージ訴求を最大化していきます。

企画/実行: WASForum Hardening Project実行委員会

- ・ 門林 雄基 Youki Kadobayashi (奈良先端科学技術大学院大学): 実行委員長
- ・ 岡田 良太郎 Riotaro Okada (株式会社アスタリスク・リサーチ/OWASP Japan): ファシリテーション
- ・ 武智 洋 Hiroshi Takechi (日本電気株式会社): ファシリテーション
- ・ 根岸 征史 Masafumi Negishi (株式会社インターネットイニシアティブ): ファシリテーション
- ・ 中野渡 敬教 Takanori Nakanowatari (OWASP Japan): ファシリテーション
- ・ 淵上真一 Shinichi Fuchigami (学校法人KBC学園): ファシリテーション
- ・ 上野 宣 Sen Ueno (株式会社トライコーダ/OWASP Japan): 技術担当
- ・ 池田 克巳 Katsumi Ikeda (株式会社アスタリスク・リサーチ): 技術担当
- ・ 川口 洋 Hiroshi Kawaguchi (株式会社ラック): 技術担当
- ・ 中西 克彦 Katsuhiko Nakanishi (NECネクスソリューションズ株式会社): 技術担当
- ・ 中津留 勇 You Nakatsuru (SecureWorks Japan 株式会社): 技術担当
- ・ 柳澤 伸幸 Nobuyuki Yanagisawa (株式会社ラック): 技術担当
- ・ 宮地 利幸 Toshiyuki Miyachi (国立研究開発法人情報通信研究機構): 競技環境担当
- ・ 安田 真悟 Shingo Yasuda (国立研究開発法人情報通信研究機構): 競技環境担当
- ・ 山城 重成 Shigenaru Yamashiro (株式会社ラック): 映像担当
- ・ 三輪 信介 Shinsuke Miwa (国立研究開発法人情報通信研究機構)
- ・ PMO: Web Application Security Forum

Supported By:

Diamond Sponsor

DMM.com Labo

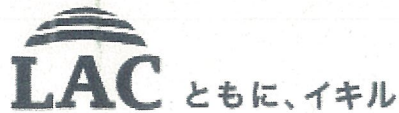
Platinum Sponsors



Microsoft



NTT Com Security



Orchestrating a brighter world

NEC

SecureWorks[®]
A Dell Company

Sponsors and
Supporters



CISCO



CISCO

DMM.com Labo



主催

Web Application Security Forum Hardening Project実行委員会

共催

内閣府 沖縄総合事務局

後援

- 沖縄サイバーセキュリティネットワーク
- OWASP JAPAN
- JPCERT コーディネーションセンター
- JNSA NPO日本ネットワークセキュリティ協会
- ISOG-J 日本セキュリティオペレーション事業者協議会
- (ISC)2 Japan

特別協賛

- 情報通信研究機構

協賛・協力

- 株式会社DMM.comラボ
- NTTコムセキュリティ株式会社
- 日本マイクロソフト株式会社
- 株式会社ラック
- 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- SecureWorks Japan株式会社
- 日本電気株式会社
- トレンドマイクロ株式会社

- [シスコシステムズ合同会社](#)
- [ヤフー株式会社](#)
- [富士通ネットワークソリューションズ株式会社](#)
- [テクマトリックス株式会社](#)
- [株式会社カスペルスキー](#)
- [サイボウズ株式会社](#)
- [株式会社ブロードバンドセキュリティ](#)
- [株式会社インフォセック](#)
- [SCSK株式会社](#)
- [株式会社オーシーシー](#)
- [富士ゼロックス株式会社](#)
- [株式会社インターネットイニシアティブ](#)
- [NAIST奈良先端科学技術大学院大学](#)
- [学校法人KBC学園 国際電子ビジネス専門学校](#)
- [株式会社トライコーダ](#)
- [株式会社アスタリスク・リサーチ](#)
- [ScanNetSecurity](#)

Special Thanks

Etsuko Ichihara, Yoh Nosaka, Yoshitake Hatada, Norio Suzuki, Hanami Wakabayashi, Yoshiko Kanou, Koichiro Eto, our family and an amount of mentors.

共有:

[Tweet](#)

トラックバック:3

この記事のトラックバック URL

<http://wasforum.jp/hardening-project/trackback/>

トラックバックの送信元リスト

[Hardening Project 2016 - Web Application Security Forum - WASForum](#) より

pingback - [GTGT沖縄へ行く | 株式会社ロックオン社員ブログ](#) より 2014/07/28

[...] Hardening 10 APACとは WASForum が主催するセキュリティイベントです。チーム対抗で、脆弱性のあるECサイトへのハードニング(堅牢化)力の強さを総合的に競います。Hardening Projectに興味をお持ちになった方は、公式サイトもご覧ください。 [...]

pingback - [インシデントが次々に襲う悪夢の日、ECサイトを守り切れるか？ | ASCII.jp](#) より
2014/08/11

[...] Hardening Project [...]

trackback - [株式会社ロックオン社員ブログ](#) より 2015/12/08

たこ焼きエンジニア、沖縄へ行く(Hardening 10 Value Chain)

こんにちは。エンジニアの中西です。去る11月7日から8日に沖縄県宜野湾市で開催された Hardening10 Value Chain に参加をしてきました。Hardeningとは『最高の「守る」技術を持つトップエンジニアを発掘・顕彰するもの』です。脆弱性のあるシステムを堅牢化し、運営サイドの攻撃に耐えながらサービスを運用を行います。ロックオンが参加するのはこれで3回目になります。最初に

参加した時は東京での開催だったのですが、なぜか金曜日の夜に大阪から東京へ車で移動する
という意味のわからな...

[ホーム](#) > [Hardening Project 2016](#)

NEWS

- 今日、プログラムを満喫しよう SGR2016
9.23 2016/09/23
- 9.16 Lucky Bird Day 2016/09/16
- SGR – Security Groups Roundtable
2016.9.23 に参加しよう 2016/08/29

Social

- [@WASForum](#)
- [Facebook Page: WASForum](#)

[ページの上に戻る](#)

All rights reserved by Web Application Security Forum.



Web Application Security Forum – WASForum

since 2004

ホーム

Hardening Project 2016

SGR2016 – Security Groups Roundtable, 2016.9.23

Event/Conference

Communication

WASForumとは

ホーム > Hardening Project 2016 > 募集要項 – Hardening 100 Weakest Link

募集要項 – Hardening 100 Weakest Link

2016/08/16 19:00

本日、11月1,2日に開催する計画のHardening 100 Weakest Linkの開催と、競技参加者募集開始を発表いたします。



Hardening 100 Weakest Link

Hardening Project

セキュリティ技術によるビジネス堅牢化のための技術のさらなる高みと実践力の粋を尽くすため、**Hardening Project 2016**の第二回目の競技会が始動します。次回の競技会は、**Hardening 100 Weakest Link**(ウィケスト・リンク)と命名されました。

今回の競技会により、ビジネス継続を実現するためのあらゆる役割や手法が引き続き価値連鎖 – Value Chain の関係にあることを訴求しながら、それを実現するための各要素をより緻密に、かつ正確なスキルとしてシフトさせ、すべての側面で強化させることを目指します。

- 場所: 宜野湾市 沖縄コンベンションセンター A棟
- Hardening Day: 2016年11月1日 9:00集合 (前日の31日より来沖を推奨)
- Softening Day: 2016年11月2日 9:00集合
- 募集 50名程度

基本的なルール

競技はチーム対抗で、託された問題のある脆弱なウェブサイト(例えばEコマースサイト)を、決められた比較的短い時間であらゆる手だてを尽くして堅牢化し、売り上げなど成果が最大化するよう調整していきます。

競技を通して、次々と発生する攻撃や不具合に対応する技術施策、助けになる製品・サービスの調達、脆弱性対応、リソース管理、コミュニケーション、記録などバランスよくこなすことの総合力、いろ

いろいろなやり方があることなどが浮き彫りになることでしょう。

それぞれの成果は定量的にスコアリングされ、評価の根拠となります。

今回は、国内外からのすべての参加希望者は、1, 2, 3名の単位でお申し込みになれますが、必ずしも同じチームになるとは限りません。すべての参加者は、チームのバリューを最大化するために必要となる、いろいろな技術・ビジネススキルの視点が必要となることでしょう。

2016年11月1日 **Hardening Day** 当日は、参加者の皆さんは、沖縄県宜野湾市 沖縄コンベンションセンター内のHardening 競技会場にお越しいただきます。事前の顔合わせ、戦略の決定などのため **前日に来沖することを強くお勧め**します。当日は、短いブリーフィングの後、10時より堅牢化競技に入ります。今回は少なくとも8時間を予定しています。ネットワーキングパーティなど、この二日間には懇親を深めるさまざまな機会があることでしょう。

翌日、**Softening Day** では夕方まで、健闘を振り返り、学びを深めます。同会場において、主催者(攻撃チーム)からの競技環境の解説、参加全チームによる振り返りプレゼンを行い、重要なサービスを担うウェブサイト運営において不可欠なノウハウを数多く学ぶことができます。

新たなコラボレーションを、どうぞご期待ください。

開催概要

- ・ 日時: 2016/11/1,2
- ・ 場所: 沖縄県宜野湾市 沖縄コンベンションセンター
- ・ 主催: [WASForum Hardening Project](#)
- ・ 共催: [内閣府](#) [沖縄総合事務局](#)
- ・ 参加対象者: 産・官・学問わず、チームマネジメント、脆弱性対応、ソフトウェア開発、品質管理、コミュニケーション対応、調達管理、システム運用、セキュリティインシデント対応、ウェブ構築、顧客対応などの実務経験者、関連する役割を志す方々
- ・ 競技参加費用: 無料(*1)
- ・ twitter [@WASForum](#) ハッシュタグ: [#h100w!](#)

*1 昼食ならびに懇親会の費用(合計5000円程度予定)ご負担いただきます。

応募条件

過去の参加経験に関わらず、どなたでも、お申し込みになれます。参加者は以下の条件を満たしていなければなりません。お申し込みになるということは、この条件を全面的に承諾しているということになります。

1. 匿名希望の方の参加はできません。基本的に、参加者が所属する会社名は特に許可をいただかない限り、公開しません。業種などを社名や個人を特定しない方法で示すことはあります。
2. 参加者は完全に自費で参加できること。参加者は、実的な範囲で健康であり、特別な支援がなくても自力で2日間の競技やそれにまつわる全行程に参加することができること。
3. 参加者の人種、出身国を問いません。競技関連の情報は日本語あるいは英語で提供されます。
4. Hardening Day、Softening Day両方に参加し、ふりかえりのプレゼンテーションの実施に貢献できること。
5. システム構成や技術情報など、Confidential/内密扱いとして開示されるものについて内密を保つこと。
6. 18歳未満の参加者については、保護者との連絡の上、同意書など必要な書類を提出できること。
7. イベントのアレンジ、ルール、提出物の〆切日時などの取り決めに協力し、守ること。
8. このイベントの様子は、主催者やプレスによる報道、中継、写真などにより予告なく公開されることを承諾すること。

9. 競技に使用する自分用のパソコンやソフトウェアなどを自分で準備できること。

付加情報

本イベントご参加で、(ISC)2認定資格保持者様のCPEクレジット(16ポイント)が取得可能です。

応募方法

以下の内容をメールにて、To: hardening at wasforum.jp まで、Subjectに「#h100wl参加応募:お名前(代表者)」としてお送りください。応募のために記載した事柄の中で、非公開な内容を含むのであればその項目タイトルに<非公開>と明示してください。

- 3名まで、まとめてお申し込みになれます。
- 申込者全員について、以下のそれぞれ記載してください。
 - 氏名(実名)
 - 過去の参加経験:(どの回か記載してください。なおmini Hardeningの場合も記載してください)
 - ニックネーム
 - 連絡可能な電話番号
 - Twitterアカウント(あると有利です)・FacebookアカウントのURL
 - メールアドレス(休日や競技期間中にも閲覧可能なもの)
 - 所属団体
 - 個人の自己紹介(200文字程度以内)
 - 競技への参加動機:自分の競技参加によってこの競技会にどのような貢献ができるのか、またどんな成果を期待しているかを記載してください。
 - 所有のスキル(以下から最大5つ程度選択):ベンダー選定、受発注、ソフトウェア開発、セキュア開発、アジャイル、脆弱性診断、システム運用、インフラ構築・運用、広報、レピュテーション対応、データベース、ネットワーク、インシデントレスポンス、(社長)秘書、マルウェア解析、人事(HR)、サーバチューニング、総務、ロジ、グラフィックデザイン、プロジェクトマネジメント

応募×切と参加承認

技術によるソリューションにかかわるあらゆる側面の方の貢献が期待されています。また、どんな人でもこの競技から学べることは多いので、技術エキスパートでないと思われる方でも、遠慮なくご応募ください。応募×切は、以下のとおりです。

Birds

- ×切:9月24日 12:00 PM JST
- 参加承認条件:応募内容に基づく厳正な審査を行い、9月27日に結果をご返信します。
- 特記事項:審査結果のご連絡までは、参加が決定になりません。

実行委員長からのメッセージ

最後に、実行委員長からのメッセージをお送りします。

今年のHardeningでは衛る(まもる)総合力、なかでもとりわけ価値の連鎖に注目して企みを実践してきた。リアルタイムにインシデントが起きている現場でビジネスを衛るとはどういうことなのか、という問いかけに対し、これまでのHardening開催を通じ、突発的チームワーク、衛る総合力、価値の連鎖といったキーワードが見出され、また参加者それぞれのナラティブが生み出されてきた。

リアルタイムにインシデントが起きている現場は、「普通の」エンジニアの感覚からすると「普通ありえない」。だからこそ我々はそのような「普通ありえない」状況に身を投じ、自らの、そしてチームの弱みを直視し、持てる力を総動員してビジネスを衛らんとする参加者の創意工夫とユーモア、そしてプライドの向こうにある突発的チームワークの中に大きな可能性を見出しているのだ。

今回は理想的な価値の連鎖、の対偶 – Weakest Link – に注目して自由闊達に戦いを挑んで欲しい。

WASForum Hardening Project 実行委員長
門林雄基



DMM.com Labo



共有:

[Tweet](#)

ホーム > Hardening Project 2016 > [募集要項 – Hardening 100 Weakest Link](#)

NEWS

- 今日、プログラムを満喫しよう SGR2016
9.23 2016/09/23
- 9.16 Lucky Bird Day 2016/09/16
- SGR – Security Groups Roundtable
2016.9.23 に参加しよう 2016/08/29

Social

- [@WASForum](#)
- Facebook Page: WASForum

[ページの上部に戻る](#)

All rights reserved by Web Application Security Forum.